

# 地域密着型サービス自己評価項目

## 評価項目構成

### 理念に基づく運営

- 1. 理念の共有
- 2. 地域との支えあい
- 3. 理念を実践するための制度の理解と活用
- 4. 理念を実践するための体制
- 5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

- 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
- 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

- 1. 一人ひとりの把握
- 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
- 3. 多機能性を活かした柔軟な支援
- 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

- 1. その人らしい暮らしの支援
- 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

合計

サービス評価に関する(自己評価のみ)

合計

自己評価  
項目数

外部評価  
項目数

24

14

3

2

3

1

5

4

7

3

6

4

10

2

4

1

6

1

17

6

3

1

3

2

1

1

10

2

38

11

30

9

8

2

89

33

13

102

## 記入方法

事業所の管理者が介護従業者と協議し、ご記入ください。  
「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に「1」を入力し、該当しない場合は「0」を入力してください。  
サービス評価に関する項目では、選択肢から事業所として該当すると思われる「1」～「4」の数字を入力してください。

自己項目は89項目です。【国87項目+県追加2項目。除くサービス成果項目】  
外部評価項目は33項目です。【国30項目+県追加3項目】

「自己評価」は、上部の項目番号が通し番号となっています。  
「外部評価」には「外部評価」の表示と下の項目番号が通し番号です。  
県の追加項目には「追加」。重点項目には「重点」と項目の横に表示しています。

サービスの成果に関する項目は、13項目です。

## 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。

職員 = 「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。  
チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、地域包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

## 事業所名

ほんわかハウス新館

(ユニット名) グループホームの場合  
新館2階

## 記入者(管理者)

武田 かをる

記入日 2007年5月1日

## 新館2階

## 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目）

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	4	
理念に基づく運営	1	1 理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に関しては、玄関、事務所に貼付し職員全員が理解し実践できるように努めている。また、ミーティング時に理念に基づいたケアの実践方法を学ぶ機会を設けている。	0	
		2	<b>理念の共有と日々の取り組み</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を全職員が理解、共有している。地域に開かれたホーム作りを目指し日々取り組んでいる。	0	
	2	3	<b>家族や地域への理念の浸透【外部評価】</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	来訪された際に目にして頂けるように玄関前に理念を貼付している。また、利用契約の際や家族会などを通して説明している。	0	
	2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)		自己評価3項目・外部評価1項目	2	
		4	4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自治会でのお付き合いの他にも、近隣の方であった際には挨拶をするように努め、入居者の皆さんが作成した作品（刺し子等を）お配りしたりとホームの活動にも理解を深めて頂く努力をしている。	1
5	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		事業所として自治会に属し、ハイキングや運動会、敬老会等の行事や地域清掃等にも積極的に参加している。	1	地域運営推進会議をきっかけに、お互いの要望や意見を交換しより一層、地域住民として地域に貢献していきたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づき運営	2 支地 え域 合 と いの	6	<b>事業所の方を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	全職員参加のミーティング時に、「事業所として何が出来るのか」を話し合う機会を設けている。小さいお子さんの見守りや声掛け等出来る事から取り組んでいる。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	2	
	3 理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部 評価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、全職員が外部評価の意義を理解している。評価された項目に関して、良い点も悪い点も真摯に受け止め改善、また向上を目指し取り組んでいる。	0	
		8 外部 評価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている		1	運営推進会議を思うように開催する事が出来ておらず、第1回目を平成19年5月15日に開催予定。参加メンバー：自治会役員3名・老人会役員1名・民生委員1名・ご家族2名・職員4名。
		9 外部 評価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		1	第1回目の運営推進会議の開催を機に取り組みを検討していきたい。
		10 外部 評価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現状、左記の制度・事業を必要とする入居者さんはおられないが、制度の使用が必要になった際にいつでも活用できるよう学ぶ機会を作っており、しっかりと理解できるように努めている。	0	
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員参加のミーティング等で話し合う機会を持ち、事業所内で虐待が起こらぬよう防止に努めている。また、虐待が職員のストレスから来る恐れもある為、職員のストレス解消法なども検討し学んでいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づきく運営	4	理念を实践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)		自己評価7項目・外部評価3項目	0	
		12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約には十分な時間をかけ、利用者、ご家族の不安を取り除き理解、納得して頂いている。また契約後に疑問点や不安な点があった場合にもその都度対応させて頂いている。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さんからの意見や不満があった場合には、ミーティングやケアカンファレンス等で議題として持ち寄り、極力、利用者さんの意見、意向を日々の生活に反映出来るよう努めている。	0	
		14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会や来訪時に、個々に合わせ報告を行っている。また月に1回、生活の様子が分かる写真付きの手紙をお送りしている。金銭管理に関しては必要に応じその都度報告させて頂いている。	0	
		15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族から頂いた意見、不満、要望に関しては全職員が共有できるようにし、改善、向上に努めている。また法人内にも相談窓口を設置している。	0	
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全職員が参加する会議の場や、必要に応じて個別に意見を聞く機会を設けている。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務表作成の前にあらかじめ勤務希望(休み)を聞き、極力職員の生活の状況と希望に応えられるようにしている。また、病気、冠婚葬祭等急な変更にも対応できるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 る 理 念 め の 実 体 制 す	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職や異動希望等が無い限りは職員の異動は行っていない。また離職を必要最小限に抑えられるよう、管理者やリーダーと共に職員とのコミュニケーションを図っている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5  人材の育成と支援	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員採用にあたっての選別等は行っていない。事業所で働く職員に関しては、個性や向き不向き、個人の能力を理解し、長所を伸ばせるような指導、支援を行っている。また職員個々の意見が言い易い環境づくりに努めている。	0	
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権教育、啓発を学ぶ場として、全職員参加のミーティングを活用したり、地域で行われている勉強会に参加している。	0	
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用されてから実務に取り掛かる前における研修やその後の勉強会、研修会、OJTを通して職員育成に努めている。また職員の適正に合わせ外部研修に参加させている。	0	
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福岡県高齢者G・H協のブロック間で持ち回りで勉強会や意見交換会などを行っている。また今後、各ホーム間での交換研修等も予定しており、サービスの向上を目指している。	0	
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間や、休憩所などを工夫し職員が生き抜き出来る場所と時間を作っている。またストレス解消法の勉強会を行ったり、食事をする機会等を設けている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	夏季、冬季の賞与に関しては査定制度にしており、法人側からの一方的な評価だけでなく、職員による自己評価を行い評価を反映している。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10項目・外部評価 2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4項目・外部評価 1項目	0	
	1	25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	居室におられる際や入浴時など、ご本人の本音が言える時間、機会を作り受け止めている。受け止めた要望、不安に関しては全職員が共有できるようにし、ケアプランに反映できるよう努力している。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族来訪時に個別に要望や意見等を伺える機会を作っている。またケアプラン作成、更新の際には、その状況にあったご家族の意見、要望をお聞きし反映できるよう努めている。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた職員、管理者だけが問題解決に取り組むのではなく、ミーティングやケアカンファの際に全職員で共有し、ニーズにあった支援、対応が出来るよう努めている。	0	
		28	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の事前に御家族よりある程度の情報（好み）等をお聞きしご本人が生活にスムーズに入る事が出来るよう努めている。また、入居当初は御家族できるだけ面会、電話等お願いし不安の軽減に努めている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6項目・外部評価 1項目	0	
係り2 継続 これ へま での 支 援 開	29	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ケアプラン作成に関しても、ご本人の意向を出来る限り盛り込み反映できるよう努めている。職員は「共に」、「教えて頂く」という姿勢で常に接するように努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族が来訪された際には、必ず職員が声をかけお話をいただいている。月1回、御家族に最近の写真を載せた手紙を送付すると共に、ケアプラン作成時には必ず御家族の要望を伺っている。(日常の要望も)	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御家族に常に最近の心身状態を報告し、会話や行動等行き違いの無いよう支援している。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人宛に手紙や電話があった場合、また来訪があった際には御家族にその方との関係を伺ってからご本人の希望を尊重し、返信や会話、面会等して頂けるよう支援している。(家族構成、友人知人はある程度はあらかじめ伺っている。)	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	普段の座席、食事の席等も、入居者同士の相性を考慮し座って頂いている。また散歩や、ドライブ、外出等も同様に支援している。入居者が孤立しているような場面では、職員が間に入り橋渡しをしたり、会話の糸口をつかめるようにしている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	担当者や管理者等が折を見て連絡を行ったり訪問するなどしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1~4 (自己 35~51・外部 17~22)				自己評価17項目・外部評価6項目	3	
1 一人ひとりの把握(自己 35~37・外部 17)				自己評価3項目・外部評価1項目	1	
1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		ケアプラン作成時には、ご本人、御家族の要望、意向を必ず伺っている。その要望意向が最大限に反映できるケアプラン作りが出来る努力をし、ご本人主体のケアに努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、御家族からの聞き取りにより、新しい情報があれば個人情報紙に書き留めて職員全員が見られるようにし情報の共有をしている。	1	よりよいケアが実践出来るよう、御家族来訪時には積極的に挨拶、お話をさせて頂き、御家族との親睦をより深めていきたい。
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の生活状態を午前、午後、夜間とに分け、様子を具体的に記入し職員全員が見ている。またそれに加え、月1回、カンファレンスを開き細かい情報の共有を行っている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回、ケアカンファレンスにて意見、気付きを出し合っている。御家族来訪時、ケアに対する意見、気付き、思いを伺い記入している。遠方の方へは電話、郵送にて対応している。	0	
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプラン実施機関終了前1ヶ月に見直しを行っている。また心身の状態に変化が見られた場合はその都度、カンファを行い見直しをしている。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録表にケアプランをはさみ、実践を徹底できるようにしている。またケアプランチェック表により、徹底していないケアを再確認し、月1回のケアカンファで職員全員が理解できるようにしている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	他科受診、入院の付き添い、家族宿泊等要望があれば出来る限りの支援をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的に訪問、外出で歌の地域教会ボランティアによる歌の会に参加している。また自治会主催の行事(運動会、ハイキング、敬老会等)に参加し交流を図っている。	1	今後もこれまで以上に地域交流に力を入れていきたい。また御家族との共同参加が出来るよう働きかけていきたい。
	4		<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	実際に他のサービスをご希望される御家族がおらず利用はしていないが、今後のために、様々な機関、ケアマネージャー等と情報交換をしている。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	情報交換程度でこちらからの積極的アプローチによる協働はない。	1	今後は地域包括センターと協働し、より良いケアが実践出来るよう努めていきたい。
		45	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所のかかりつけ医の他、ご本人、御家族が要望される場合は希望の医療機関にて診察が出来るよう支援している。平素から「医療連携日報」を記録し入居者の心身の健康状態の把握に努め、医師、看護師との連携を図っている。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	原則として受診、往診日に相談報告行っているが、それ以外の日も電話やFAXにて対応、相談している。	0	
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	受診日やそれ以外の日も相談し、情報交換を行っている。「医療連携日報」は看護師にも目を通して頂いている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	職員、ご本人、御家族、かかりつけ医と話し合い決めている。他医療機関に入院された時には、スムーズに対応出来るよう準備している。(入居者情報及び、病歴や服薬一覧表など)	0	
		49 外部評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居される際に御家族より終末期に関するケアの意向を伺い書面化している。重度化に伴ったADLの低下にあわせての家具の配置等状態に応じた支援が行える体制を作っている。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	日々職員間また、医師と相談をしチームとしてのケアの実践が行えるよう、カンファやケアプランの見直し等で準備し実践している。変化に備えての医療体制も整っている。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	御家族と十分な連絡を取り合い、関係機関との情報交換によりご本人の心身の安定と御家族の不安の軽減に努めている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	0	
		52 外部評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
			<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報には外には持ち出さず、記録物は御家族しか見れないように保管、管理している。入居者ご本人が気を害されることの無いよう声掛けや対応には注意を払っている。	0	
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	些細な動きに目を配り、ご本人の意思を尊重しながら声掛けや支援をしている。また状況がより分かりやすいように時折方言を交えて対応している。作業の提供はご本人のADLに応じて提供するようにし、自信喪失などに繋がらないよう注意を払っている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間、就寝時間を決めず、体調等も考慮しながらそれぞれのペースで活動、睡眠が摂れるよう支援している。またその日の活動内容はご本人の希望に合わせて調整している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月に1度、理容店に来てもらい散髪や希望者は髪染めをして頂いている。別に希望なじみの店がある場合は御家族の協力を得ながら支援している。服装に関してはご本人の好みに合わせて着用して頂いている。またお化粧品を好まれる方は希望のものを準備させて頂いている。(御家族からも)	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備、買物、片付け等はそれぞれの好みやADLの状況により提供し一緒に行っている。お一人お一人の好き嫌いを把握し別のものをお出しする等して対応している。また外食の場を時折設け、喜びや楽しみを感じて頂いている。	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	15時にお茶の時間を設けお菓子作りを一緒にしたり好み品を提供したりしている。ご本人の要望で買物にご一緒したりもしている。お酒を好まれる方は健康状態に応じて時折召し上がられている。	0	
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者それぞれのADLに応じてポータブルトイレやリハビリパンツ等使用して頂いている。(ご本人、御家族同意の上)排泄時やパット、パンツの交換時には排泄記録表に記入し排泄間隔を把握出来るようにしている。排泄の声掛けや誘導支援に関してはプライバシー保護の観点から細心の注意を払っている。	0	
59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴前は必ずバイタルチェックを行い、体調に合わせ無理の無いよう入浴の支援をさせて頂いている。入浴時間の取り決めは特にしていない。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	起床、就寝時間の取り決めはしておらず、ご本人のペースで支援している。夜間は1時間ごとの巡視を行い室内環境の整備に努めている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご本人の生活歴や好みを把握し作業の内容に応じ提供し出来る事を出来るだけして頂く様(無理の無いように)支援している。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御家族の了承を得てお金を持たれている方に対してはそこからお金を出して頂き好みの物を購入出来るよう支援している。その際間違えの無いよう領収証を取りコピーを保管し、必要であれば御家族にお見せしている。またお金を持たれていない方に関しては、御家族の了承を得、立替という形で極力希望に添えるよう支援している。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブ、散歩、買物、花見等入居者さんの希望に添えるよう準備をし支援している。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	食事会や、季節の花見、行事イベント(どんたく等)、野球観戦等その都度機会を作り皆さんに楽しんで頂けるよう支援している。	0	
65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はいつでも自由に利用できるように、リビングの目につきやすい所に設置している。また電話をしたいが掛けられないという方にはダイヤルを回す等して支援している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	原則として面会時間に規制を設けていない。いつでもご家族等が訪問できるようにしている。ご希望があればリビングで皆さんと一緒に過ごして頂いたりしている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	0	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないことを運営者、全職員が認識しており、身体拘束を行わないケアを実践している。	0		
		68	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全職員が居室や、日中玄関を施錠する事の弊害を理解し実践しているが、状態急変時等、やむを得ず日中施錠する場合はその理由を御家族に説明し了承を得ている。	0		
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者さんが多数集まるリビングには必ず職員が一人いるようにしている。常に人数を確認し把握するように努めている。また夜間においては、1時間ごとに各居室に巡視を行っている。(入居者さん了承の上)	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみ等で衣類を切られたりする入居者さんのはさみ等は職員が預かりしている。保管場所、数は職員が把握しており、また使用時は傍に付く事を基本にし見守りを行っている。(包丁、はさみは使用後数を確認し記録を行っている)	0		
71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	お一人お一人のリスクに対して職員全員が情報提供を行いこまめな観察と見守りを行っている。転倒が多い入居者さんであれば、その原因を分析しベットやタンスの位置等を変えリスク軽減に努めている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の対応マニュアルを作成しており、定期的に勉強確認する場を設けている。また全職員が救命救急講習を受講している。	0	
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	事業所として、自衛消防隊を組織し年2回防災訓練を(うち1回は消防署立会い)実施しており、その他折を見て勉強会を開催し身につけている。また地域自治体主催の防災訓練にも参加し地域の方や消防団の方とも交流を図っている。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	状況変化があった時や起こり得ることについては管理者より御家族へ説明している。その際アドバイスを頂いたり意見交換を行っている。また出来る事として、事故が起こりやすい時間帯を把握したり、事故を未然に防げるような環境作り(テーブル、椅子の配置や居室～トイレまでの導線等)に努めている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入居者さんが一人ひとりの体調の変化、異変に気づくよう各職員が注意観察し、変化が見られた場合にはその都度記録に残している。また記録は職員全員が読む事になっており、情報を共有している。申し送りシートの活用により情報の漏れが無いよう努めている。万が一に備え、急変時対応マニュアルを作成し迅速な対応が出来るようにしている。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師からの処方薬は全て職員が管理し、医師の指示に従い間違いの無いよう服薬して頂いている。状態の変化があった場合には医師に連絡をとり指示を仰いでいる。また入居者さんの担当職員が薬の目的や効果等、一覧にし全職員がファイルを見て理解できるようにしている。	0	
77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便通が良くなるといわれている、野菜、海草乳製品(ヨーグルト等)類をメニューに多く取り入れている。水分摂取量に気をつけ、食事の際に汁物をお出ししたりご本人が好む飲み物をお出ししている。また散歩や買物等体を動かす機会を提供している。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯磨き時、声掛けのみ行う方、磨き残しのみ介助する方と個人の能力に合わせ口腔内の清潔を保っている。義歯使用者は就寝前には外して頂き必要があればお預かりしている。また週1回のポリデント消毒を行っている。治療の必要な方は歯科の往診を受けている。(イソジンの有効活用もを行っている)	0	
		79 外部評価31	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員が入居者さんと同じ物を同じ場所で食べることにより、食事量や状態を把握し変化が見られた場合は記録に残している。(食事記録)水分はこまめに摂って頂けるよう声掛けをしている。状態に応じてエネルギー補給のゼリー等を摂って頂いている。また持病等により食事の内容や量、水分等を調整し健康管理に努めている。	0	
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し、感染症対策に努めている。流行時(前)には勉強会を開き職員の意識を高めている。またノロウイルスに関しては汚物処理道具と消毒液を準備し備えている。	0	
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は賞味期限を毎日必ず確認し新鮮な食材を使用することを心掛け、調味料等は開封した日付を記入している。また器具(包丁、まな板等)に関して毎日使用後に消毒を行い清潔に努めている。原則として調理後2時間経過した食事はお出ししないようにしている。(食材は可能な限り火を通している)	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価8項目・外部評価2項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価5項目・外部評価2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前には花や野菜を植え開放的な空間にしており、日中は原則として施錠していないため御家族も訪問しやすい雰囲気である。	0	
		83 外部評価32	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節折々の花を飾り季節感を味わってもらっている。その際入居者さんに花を活けてもらっている。また行事(お正月、ひな祭り、五月節句、七夕、クリスマス等)の飾り付けをする。音、光の調整に気を配り、職員は大きな声、走る等の言動に注意している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間である和室にソファを置きテレビや音楽鑑賞等、くつろげる空間作りをしている。また入居者さん同士の相性を考えた座席配置を行い、特定の場所を好まれる方にはできる限りその場所を確保し安心できるようにしている。	0		
		85 外部評価33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの家具、写真、寝具等を持ち込んでもらい安心して生活できるようにしている。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	起床時、日中と定期的に窓を開け換気を行っている。温湿計を設置し快適な状態を保ち、必要に応じ加湿器等を使用している。また在室中はエアコンの温度はこまめにチェックしている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレに手摺を設置し歩行、移動しやすいようにしている。またリビングの洗面台には跳ね上げ式手摺を設置し車椅子移動や入居者さん同士のすれ違いがしやすいように工夫している。入居者さんが移動しやすい導線を確保している。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員は一人ひとりの認知度を把握し「受け入れる」(否定しない)、「待つ」の姿勢で接し、その方にあった安心できる声掛けで対応している。また、居室の見やすい位置に表札を掛けたり目印になるようなものを付けたりと居室またトイレ、浴室等認知しやすい工夫をしている。	0		
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにプランターを置き季節の花や野菜を植えたり水やりをされたりして楽しんで頂いている。玄関前も同様に行っている。また近所に畑を借りている為野菜作りが出来る時期に行っている。	1	畑を有効活用し周りに花等を植え、入居者さんはもちろんの事、近所の方にも楽しんでもらえるようにしたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当する数字を右該当番号欄へ入力)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	4	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。